

# ■ 2020年度 入試問題分析シート ■

東北大学

前期日程

科目

文系数学

総括

試験時間	100分	難易度(昨年比)	難化	昨年並	易化
満点(配点)	200~300点	分量(昨年比)	増加	昨年並	減少

〈総論〉

すべての問題が標準的な問題で、特に難しい問題はなかった。

〈特記事項・トピックス〉

②, ③は理系との共通問題であった。また、④のように内容が2分野にまたがる問題があった。

〈合格への学習対策〉

各分野をまんべんなく学習し、標準的な問題からやや複雑な応用問題も得点できるように練習しておくこと。

## 設問ごとの分析

問題番号	出題形式	範囲	分野・テーマ	特徴(内容分析・解答上のポイント)	問題レベル
①	記述式	II	微分法と積分法	2つの2次関数のグラフと $x$ 軸で囲まれる部分の面積 $S(a)$ と、その最大最小を与える $a$ の値を求める。	やや易
②	記述式	A	整数	(1)は二項定理または数学的帰納法を用いて証明する。 (2)、(3)は(1)で示したことを利用すると、 $n=1, 2$ に限られることがわかるので、 $n=1$ と $n=2$ の場合を具体的に調べればよい。	標準
③	記述式	II	図形と方程式	(3)では、円と2直線に関する共有点の個数についての条件を求める。(1)の結果に注意する。	標準
④	記述式	A, B	確率、ベクトル	6枚の硬貨を投げて決まるベクトルについての確率を求める。	標準

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。